

世界の農業機械・資材トレンド

ヨーロッパの農機実用テストの権威、ドイツ「profi」誌に掲載された世界の農機の最新情報

Track trend accelerates

オーストラリア

クローラ化が加速する



過去12カ月におけるコンバインの販売傾向で特筆すべきニュースは、タイヤに代わって大規模穀物生産において最も生産性が高い機械に装着されたクローラに関するものである。

タイヤを使用しない代替品が登場し、耕作農家は、ますますぜいたくな気分を味わっているようだ。当初は一部のサブプライヤグループに支持されていたが、現在、農場の機械化を行なう大企業が、従来ではニッチ市場であると考えられていた技術から有益な販売を行なおうとしている。

この進撃をリードしてきたのが、ヨーロッパの農業機械における巨大企業のクラース社である。同社によると、今年オーストラリアに納入された新型のレキシオン700シリーズのコンバインの50%程度が、工場で取り付けられたテラトラック(Terra Trac)クローラシステム仕様になると誇らしげだ。

クラース社の販売代理店であるランドパワー・オーストラリア社のゼネラルマネージャー、ポール・パリー氏は、当地域におけるコンバインの年間売り上げが同社での過去最高の結果であったことを反映して強気の姿勢であった。

「テラトラックシステムに関する需要は桁外れで、おそらく大部分は昨年夏に豪雨に見舞われたニューサウスウェールズ州北部およびクイーンズランド州地域でのクローラ仕様のレキシオンの実績によると思われる」と同氏は言う。

「穀物およびシリアル穀物の栽培者および請負業者の間に、動きの取れなくなったホイール仕様の機械の横を通ってゴムクローラ仕様のレキシオンが圃場に入っていく、考えられる最悪の状況で倒伏した作物の収穫に成功したとのうわさが急速に広まっている」と同氏は付け加えた。



クラース・アメリカ社のコメ収穫専門家であるジェフ・グレイ氏は、オーストラリアへの3回目の訪問で、マラビンジ灌漑地区へ出張し、オーストラリアの水田における新型レキシオン750テラトラックの導入および試運転のサポートを行なった。

米国の農場におけるガス採掘

Gas drilling on US farms

米国



今日の米国において、2つの話題が農村部および都市部での話題を独占している。それは、エネルギーと仕事に関するものである。

人口の状況から見れば仕事が増加するという話は信じがたいが、新たに発見されたマーセラス・シェールガス田に関する楽観的な意見に関しては理由がある。これはウエストバーシニア州北部、ペンシルバニア州およびニューヨーク州南部の地下2300mに位置し、全米最大規模、世界でも上位5位に入る規模のガス田になると見込まれているためだ。

米国の農場のいくつかには採掘権が与えられないにも関わらず、多くの農家はガスおよび石油に関する権利を有しており、天然ガスまたは石油を土地から採掘する際の地主としての資格を得るか、これら天然資源の採掘に対して年間ロイヤリティという形で支払いを受ける。

水平なマーセラス・シェール採ガス井は、始めに通常は1マイル以上の深さの垂直な穴を掘り、続いてガス層まで水平に掘削し、最大埋蔵量を回収する。

ガス井が最深部まで到達した後は、掘削リグが外され、小型の仕上げ用リグが投入され、仕上げ段階に向けた裸孔の準備に入る。ここではマーセラス・シェール層を横切って水平裸孔部に鋼製のケーシングを穿孔する。その後、水圧破砕により坑井刺激(編集部註:坑井内から坑井周辺の採取層に人為的に変化を起こさせ、生産能力の向上を図る方法)を行なう。

このプロセスは水、砂および様々な添加物をガス層に高圧注入してこれにより生産を刺激する。この破砕では砂を「支持剤」として注入し割れ目を作り、裸孔に天然ガスの通り道を確保して地表部で採取する。



約0.5haが地表部でのわずかな破壊を想定して採掘リグ用に確保されている。垂直方向の採掘は深さ1.6~2.4kmまで下降し、水平方法へは大体同じ距離まで採掘される。ガス井周辺の土地では引き続き農業生産を継続できる。